

平成23年度指定管理者収支実績報告書

施設名	平成23年度						参考 ※(B)指定管理料以外の収入内訳	平成24年度 指定管理料	備考
	指定管理料 (A)	指定管理者				収支額に対する 担当部局の意見			
		収入(B)※ (指定管理料 含む)	支出(C)	収支額 (B)-(C) =(D)	割合 D/A %				
1 流山福祉会館 (社会福祉課)	8,692,000	8,763,287	8,754,741	8,546	0.10%	・無料で入浴施設を週4日開設しており、年間6,614人の利用があった。光熱水費が高むため経費削減が難しいが、概ね良好な管理状態であった。	雑収入(自販機電気料)71,287円	8,698,000	
2 西深井福祉会館 (社会福祉課)	4,940,000	4,940,128	4,623,993	316,135	6.40%	・無料施設であるため指定管理業務委託料で管理運営しているが、小規模な修繕は管理人が行うなど概ね良好な管理状態であった。	雑収入(預金利子)128円	4,940,000	
3 南福祉会館 (社会福祉課)	4,632,000	4,632,356	4,376,247	256,109	5.53%	・無料施設であるため指定管理業務委託料で管理運営しているが、小規模な修繕は管理人が行うなど概ね良好な管理状態であった。	雑収入(公衆電話利用料、預金利子)356円	4,632,000	
4 名都借福祉会館 (社会福祉課)	5,503,000	5,509,802	5,291,615	218,187	3.96%	・無料施設であるため指定管理業務委託料で管理運営しているが、光熱水費の削減や小規模な修繕は管理人が行うなど概ね良好な管理状態であった。	消費税還付金 6,600円 雑収入(預金利子等)202円	5,503,000	
5 南流山福祉会館 (社会福祉課)	7,620,000	7,687,123	6,736,531	950,592	12.47%	・無料施設であるため指定管理業務委託料で管理運営しているが、平成22年度に空調機の更新を実施した事や計画停電に伴う節電もあり光熱水費の削減が大きな成果を上げた。	消費税還付金 66,200円 雑収入(公衆電話利用料、預金利子)923円	7,620,000	
6 平和台福祉会館 (社会福祉課)	4,934,000	4,968,048	4,651,956	316,092	6.41%	・無料施設であるため指定管理業務委託料で管理運営しているが、小規模な修繕は管理人が行うなど概ね良好な管理状態であった。	雑収入(自販機電気料、公衆電話利用料、 預金利子)34,048円	4,934,000	
7 下花輪福祉会館 (社会福祉課)	25,538,000	39,301,062	35,032,429	4,268,633	16.71%	・有料施設である入浴施設の利用料金収入の伸びや按摩機利用、タオル販売等の雑収入もあり、安定した黒字決算できている。	利用料収入 13,110,750円 雑収入(按摩機、タオル販売等)652,312円	25,538,000	・平成22年度指定管理料は、34,550,000円である。2巡目(平成23年度)からは約10,000,000円程度減額となっている。
8 十太夫福祉会館 (社会福祉課)	11,616,000	11,616,000	11,616,000	0	0.00%	・無料施設であるため指定管理業務委託料で管理運営している。今後経費削減を指導していきたい。	なし	11,616,000	
8 十太夫児童センター (子ども家庭課)	10,381,000	10,400,000	10,400,000	0	0.00%	・無料施設であるため指定管理業務委託料で管理運営している。今後も経費の削減を指導していきたい。	・行事材料代 19,000円	10,381,000円	
9 東深井福祉会館 (社会福祉課)	27,590,000	27,610,000	25,836,000	1,774,000	6.43%	・無料施設であるため指定管理業務委託料で管理運営しているが、初年度であり予算額と決算額の差異が目立った。平成25年度指定管理料予算計上時に内容の見直しを行いたい。	雑収入(会館まつり時の販売)20,000円	27,945,000	
9 身体障害者福祉センター (障害者支援課)	15,610,000	15,610,000	14,884,000	726,000	4.65%	・講座の講師について、外部講師を予定していたものが職員で対応できたことから経費の削減が図れた。		15,655,000	
10 流山市地域福祉センター (高齢者生きがい推進課)	15,944,000	26,395,786	26,738,002	△342,216	-2.15%	・原発事故の影響により節電に努めたが、例年のない冬季の寒さによりガスの使用量が増えるなどした結果、当初予算額に対し342,216円の支出増となった。	通所介護支援事業費 10,451,786円	15,944,000	
10 流山市地域福祉センター (障害者支援課)	37,464,000	39,422,818	39,422,818	0	0.00%	・受益者負担金、給食材料費の収入額について、当初予算に近い額となり、指定管理料を含めた収入額で施設設備の改修等、利用者の要望にも応えながら事業を実施できた。	自立支援法に基づく利用者負担金 737,518 給食費負担金 1,221,300	37,464,000	
11 心身障害者福祉作業所(さつき園) (障害者支援課)	49,843,000	62,161,702	60,907,973	1,253,729	2.52%	・指定管理料の範囲内で作業所の管理運営がなされ、また、自主事業のパン・焼き菓子の加工販売事業に積極的に取り組み、利用者の工賃アップを図っている。	就労支援事業収入 12,191,987円	0	・さつき園は、B型施設に移行したため、指定管理料は0円となり、訓練等給付費として支払う。H24年予算額57,112,000円(国1/2 県1/4 市1/4)
12 流山市コミュニティプラザ (商工課)	17,810,000	31,005,694	30,910,379	95,315	0.54%	・平成23年度の収入は、当初、夜間の利用制限や昨夏の天候不順によるプール利用減があったものの2月・3月の利用増があり、当初の使用料収入目標を達成することができた。 一方、支出においては、人件費、通信運搬費、消耗品等の削減はできたが、備品、その他の事務費が増加した。	・使用料 11,513,600円 ・自主事業 1,682,094円 計 13,195,694円	17,693,000	
13 自転車駐車場 (道路管理課)	0	45,903,250	45,903,250	0	0.00%	・前年度より収入減となり指定管理者からの納付金はないが、サービス低下もなく安定した管理運営である。		0	0 自転車駐車場利用料で管理運営するため指定管理料0円となる。 最大収容台数 10,175台 (例)年間利用料 一般3,000円~7,200円 H23年度実績 45,903,250円

## 平成23年度指定管理者収支実績報告書

施設名	平成23年度						参考 ※(B)指定管理料以外の収入内訳	平成24年度 指定管理料	備考
	指定管理料 (A)	指定管理者				収支額に対する 担当部局の意見			
		収入(B)※ (指定管理料 含む)	支出(C)	収支額 (B)-(C) =(D)	割合 D/A %				
14 流山市生涯学習センター (生涯学習課)	60,000,000	105,219,697	109,121,442	△ 3,901,745	-6.50%	・2巡目では指定管理料を再精算し、光熱水費の実績を試算し年間5200万円から6000万円に引き上げた。しかし、様々な自主事業を準備するため事務的消耗品費(コピー使用料など)が当初予算より260万円超の3,611,967円の支出となり、収支マイナスの主な要因となっているので、効率的な支出を行い必ず次年度は収支マイナスとならないよう指導した。 なお、震災後の計画停電等の影響で4月下旬まで休館としたが、利用者数は始めて20万人を超え、利用料収入は対前年度比121%の増収(23年度11,722,875円←22年度9,685,710円)となった。	・利用料収入 11,722,875円 ・雑収入 2,862,895円 ・自主事業 30,105,760円 ・喫茶室のロイヤリティ 528,167円 計 45,219,697円	60,000,000	
15 流山市体育施設 (総合運動公園市民総合体育館、庭球場、陸上競技場、野球場、河川敷野球場、流山市民プール、東部市民プール、北部市民プール、北部柔道場、南部柔道場) (生涯学習課)	59,000,000	93,573,000	83,029,000	10,544,000	17.87%	・指定管理受託6年目(2巡目)にはいり、安定した経営状態なことから指定管理料を4,160千円減らしたが、これまでの施設修繕や備品設備により今年度はこれらの支出を減らすことができた。特に夜間照明設備の電気回線を改修することにより利用に不便を感じることなく節電対策に貢献した。そのほか委託業務、修繕業務、備品購入等、民間レベルの視線で価格交渉や節水、節電に努める等経営努力をしながら施設改修整備等にも取り組んでおり、結果として黒字経営となっている。	利用料収入 32,615,000円 自主事業収入 1,958,000円 計 34,573,000円	59,000,000	
16 初石公民館 (公民館)	20,273,000	23,853,892	21,955,888	1,898,004	9.36%	・収入は、前年度に比べ1.6%、374,385円の増となった。その主な理由は、利用料収入の増(4.0%、103,390円)と自主事業収入の増(329,000円)によるものである。 ・支出は、前年度に比べ0.4%、79,719円の減となった。その主な理由は、節電に伴う光熱水費の減(6.6%、218,548円)と清掃費等の維持管理費の減(2.6%、188,378円)によるものであるが、本部経費の増(19.3%、245,932円)もあって少額にとどまった。 なお、約190万円の収支額があったことから、引き続き施設の修繕、自主事業の開催など地域への還元事業を積極的に展開するよう指導したい。	利用料収入 2,686,720円 軽食喫茶よつば電気等使用料 230,817円 事業収入 329,000円 その他 334,355円 計 3,580,892円	20,173,000	
17 南流山センター (公民館)	21,009,000	24,977,944	23,961,889	1,016,055	4.84%	・収入は、前年度に比べ1.4%、344,229円の減となった。その主な理由は、空調改修工事による利用料収入の減(6.6%、183,680円)と節電による福祉会館電気料の減(28.2%、296,181円)によるものである。 ・支出は、前年度に比べ7.5%、1,951,484円の減となった。その主な理由は、空調工事及び節電に伴う光熱水費の減(16.9%、798,492円)及び節電による福祉会館電気料の減(28.2%、296,181円)によるものである。一方、本部経費は、前年度に比べ15.8%、217,344円の増となった。 なお、100万を超える収支額があったことから、引き続き施設の修繕、自主事業の開催など地域への還元事業を積極的に展開するよう指導したい。	利用料収入 2,604,280円 南流山福祉会館電気使用料 752,830円 自主事業収入 252,400円 その他 359,434円 計 3,968,944円	20,959,000	
18 東部公民館 (公民館)	20,585,000	21,998,434	21,430,983	567,451	2.76%	・収入は、前年度に比べ0.2%、35,666円の減となった。その主な理由は、利用料収入が1.4%、17,130円の増と緩やかな上昇にとどまったこと、加えて自動販売機の電気代の減(27.8%、52,796円)によるものである。 ・支出は、前年度に比べ1.9%、394,433円の増となった。その主な理由は、節電に伴う光熱水費の減(3.1%、78,167円)があったものの、人件費の増(5.7%、304,681円)、消費税の課税(258,750円)、さらに積極的な修繕への対応を行い、前年度を上回る1,557,460円を支出したことによる。 なお、収支額が57万円程度であるため、赤字にならないように指導していきたい。	利用料収入 1,276,200円 その他 137,234円 計 1,413,434円	20,585,000	
19 北部公民館 (公民館)	20,594,000	23,977,047	23,495,989	481,058	2.34%	・収入は、前年度に比べ0.4%、83,978円の増となった。その主な理由は、利用料収入の増(9.0%、119,580円)によるものである。 ・支出は、前年度に比べ0.3%、82,253円の微減となった。その主な理由は、節電に伴う光熱水費の減(10.2%、221,417円)と人件費の減(3.5%、412,389円)があったものの、消費税の支払い(677,000円)が発生したことによるものである。 なお、収支額が48万円程度であるため、赤字にならないように指導していきたい。	利用料収入 1,449,820円 千葉県生涯大学校電気使用料 1,337,579円 自主事業収入 167,200円 その他 128,448円 計 3,083,047円	20,894,000	
20 一茶双樹記念館及び杜のアトリエ黎明 (図書・博物館)	12,900,000	16,167,642	15,214,420	953,222	7.39%	・収入は、H22年度決算額が14,131,825円であることから、対前年度比14.4% 2,035,817円の増、支出は、H22年度決算額が13,818,431円で、10.1% 1,395,989円の増となっている。観覧料の収入が対前年度比27.2%増、入館者数は、17.9% 3,163人の増、自主事業では46.8% 806,296円の増となっている。 ・指定管理料以外の収入をH22年度と比較すると、全体的に40.1% 935,817円の収入増となっている。これは、入館者数が増加したことや、東日本大震災の影響も落ち着いたことなども考えられる。指定管理者が計画したH23年度当初予算額に対し、自主事業等において、収入増となっていること、また支出においても光熱費のガス料金、役員費、委託料、自主事業経費の支出を減らす努力をしたことにより収入増(953,222円)となったことは評価できるものである。	観覧料 432,130円 施設利用料 276,900円 自主事業収入 2,530,622円 受託販売手数料 27,990円 計 3,267,642円	12,900,000	
21 森の図書館 (図書・博物館)	52,500,000	54,572,375	52,872,188	1,700,187	3.24%	複写機利用料、自主事業等が当初見込みより、若干減であったことから、収入未済額は7,325円であった。余剰額の管理委託料に占める割合は、3.24%であり、債務負担行為額への影響はない。	コピー利用料金 393,180円 施設利用料金 841,900円 自主事業収入 10,100円 その他 827,195円 計 2,072,375円	52,500,000	